

## 古河電池、株式会社ダイセキMCRにESS（電力貯蔵システム）を納入

古河電池株式会社（本社：神奈川県横浜市保土ヶ谷区、代表取締役社長：黒田修、以下古河電池）は、株式会社ダイセキMCR（本社：栃木県宇都宮市、代表取締役社長：本郷忠史、以下ダイセキMCR）の平出工場にESS（電力貯蔵システム）を納入いたしました。

### ■ 導入背景

ダイセキMCRは、主要な事業活動の1つとして鉛の再生精錬を行っています。今回、安全性とリサイクル性の高い鉛蓄電池を使用した古河電池製ESS（電力貯蔵システム）を活用し、ダイセキMCRが推進するGX（グリーントランスフォーメーション）の取り組み及びBCP対策に貢献いたします。

### ■ 利用方法

自家消費用の電源として、工場屋根上に設置した太陽光パネルと、鉛蓄電池の高い安全性を活かし、未使用スペースに設置したESS（電力貯蔵システム）を組み合わせ、工場内で使用している電動フォークリフトへ充電のための電力を供給いたします。太陽光発電による余剰電力を蓄電池に充電することで、電力を無駄なく使用し（自家消費率の向上）、CO<sub>2</sub>排出量削減を目的とした運用をいたします。

また、停電時には蓄電池から電力の供給を行うことで、BCP対策としても活用します。



- ☑ 太陽光発電の電力を **鉛蓄電池** に蓄電
- ☑ 貯めた電力は **夜間** に電動フォークリフトの充電に使用
- ☑ **災害時** にも電力の使用が可能
- ☑ 使用済みの **鉛蓄電池** はリサイクルが可能

古河電池製 ESS（電力貯蔵システム）イメージ



蓄電池盤外観

### ■ 古河電池の取り組み

古河電池は、2025年中期経営計画において「脱炭素に向けたソリューションビジネスに挑戦すること」を重点施策として掲げ、事業領域の拡大を目指しています。ESS（電力貯蔵システム）の提供を通じ、再生可能エネルギーを安定かつ効率的に利用することで「脱炭素社会の実現」に向けて貢献してまいります。

お問い合わせ先

◇ 古河電池株式会社 戦略企画部 E-MAIL: [fb-ir@furukawadenchi.co.jp](mailto:fb-ir@furukawadenchi.co.jp)